

## 2016年1月～6月の「ウィーン金貨ハーモニー」、「プラチナウィーンコイン ハーモニー」 世界の販売量と日本の販売量を発表

**金貨：世界販売量は約 26 万オンス、前年同期比 11.2%減少 国内は 0.4%増加**  
**プラチナコイン：世界販売量は発売開始 3 か月間で 2 万オンスを突破**  
**日本は発売約 3 か月で 1 万オンス達成**

オーストリア造幣局(局長:ゲルハルト・シュタールジツヒ、本部:オーストリア・ウィーン)は、2016年1月から6月の世界市場と日本国内における資産用地金型金貨「ウィーン金貨ハーモニー」※<sup>1</sup>及び「プラチナウィーンコイン ハーモニー」※<sup>2</sup>の販売量をまとめました。

### 【ウィーン金貨ハーモニー】

#### ◆海外ドル建て金価格の上昇傾向により、世界販売量は昨年より減少

2016年1月から6月までの世界全体での「ウィーン金貨ハーモニー」の販売量は、重量で **257,626 オンス**で、前年同期(2015年1月から6月)の290,271オンスに対して、**11.2%減少**しました。枚数では、2016年1月から6月は **412,065 枚**の実績で、前年同期の473,550枚から **13.0%減少**する結果となりました。

2016年の海外ドル建て金価格は、年始から中国経済の不透明感に端を発して中国上海株が下落し、それに追随する形で引き起こされた世界的な株安の流れから、不安感が高まり上昇基調となりました。その結果、販売量は前年同期と比べ減少する結果となりました。

しかし、6月に入ると米国利上げ観測の後退や英国のEU離脱問題により、金融的リスクや政治的リスクによる不安感が高まったことで、販売量は増加傾向になりました。リスク回避のための資産形成の手段として金を重要視する傾向が広まった様子がうかがえます。

#### ◆国内金価格が高値圏で推移する中、安全資産として関心が集まり、販売量は微増

2016年1月から6月までの日本での「ウィーン金貨ハーモニー」の販売量は、日本総代理店である田中貴金属工業によると重量は **27,420 オンス**で、前年同期(2015年1月から6月)の27,301オンスに対して、**0.4%増加**しました。販売枚数は **36,017 枚**となり、前年同期の35,623枚から **1.1%増加**しました。

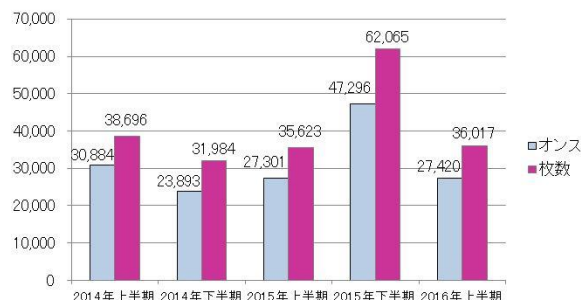
2016年1月から6月の金税抜平均小売価格(4,413円/g)は、前年同期(2015年1月から6月)の4,710円/gと比べると297円下回りましたが、月別で見ると、1月の4,205円/gから3月には4,558円/gまで350円近く上昇する値動きの激しい展開になったことで、国内の販売量は減少傾向となりました。しかし、6月は金価格が下落基調に転じたことと、英国のEU離脱問題が影響し、2016年6月の販売量(5,024.5オンス)は5月の販売量(3,421.4オンス)と比べて46.9%増加しました。世界経済の金融情勢不安に伴い、安全資産としての金はもちろん小額として持てる金貨に関心が集まっていることがうかがえます。

※1…日本国内は1、1/2、1/4、1/10、20オンス、世界市場は左に加えて1/25オンスも集計対象  
(日本国内では1/25オンスの地金型金貨としての販売はありません)

ウィーン金貨ハーモニー  
【世界販売量】



ウィーン金貨ハーモニー  
【国内販売量】



■参考 1:「ウィーン金貨ハーモニー」2016年1月から6月の世界/国内販売量

2016年	世界販売量 (単位:1000オンス)	世界販売枚数 (単位:1000枚)	国内販売量 (単位:1000オンス)	国内販売枚数 (単位:1000枚)
1月	57.0	95.6	7.0	8.9
2月	58.4	93.3	4.4	5.7
3月	33.5	52.6	4.1	5.7
4月	39.7	61.8	3.4	4.5
5月	29.4	40.6	3.4	4.4
6月	39.7	68.2	5.0	6.8
合計	257.6	412.1	27.4	36.0

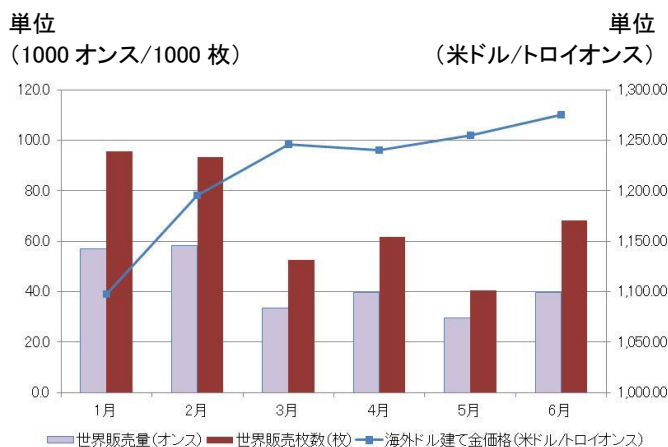
※販売量、販売枚数の概数は10の位で四捨五入しているため、合計数や加算/減算の値に誤差が生じます。  
 世界販売量はオーストリア造幣局が各国へ販売した数量、国内販売量は田中貴金属工業が国内で販売した数量です。  
 田中貴金属工業の販売量には、買い取ったウィーン金貨ハーモニーの再販分も含まれます。

■参考 2:2016年1月から6月の海外ドル建て金価格と田中貴金属公表国内金価格(月平均価格)

2016年	海外ドル建て価格 (米ドル/トロイオンス)	国内金価格 (円/グラム、税抜小売価格)
1月	1,097.23	4,205
2月	1,195.67	4,458
3月	1,246.41	4,558
4月	1,239.95	4,416
5月	1,255.10	4,450
6月	1,274.99	4,364

■参考 3:2016年1月から6月 月別金価格と販売量

【世界販売量と海外ドル建て価格】



【国内販売量と国内金価格】



■参考 4:ウィーン金貨ハーモニーの種類と国内参考価格

	20オンス	1オンス	1/2オンス	1/4オンス	1/10オンス
品位	24金、純度 99.99%				
額面金額	2000 Euro	100 Euro	50 Euro	25 Euro	10 Euro
重量	622.07 g	31.1035g	15.5517g	7.7758g	3.1103g
直径	74.0 mm	37.0 mm	28.0 mm	22.0 mm	16.0 mm
厚さ	8.3 mm	2.0mm	1.6mm	1.2mm	1.2mm
デザイン(表)	ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の本拠地である楽友協会・黄金の間のパイプオルガン				
デザイン(裏)	ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団を象徴する美しい「楽器」のデザイン				
参考価格 小売	3,269,680 円	163,484 円	83,299 円	43,094 円	17,646 円

\* 参考価格は、田中貴金属工業公表の2016年7月26日(火)9時30分の金価格(税込小売価格 1g=4,855円)の場合の1枚あたりの税込価格です。価格は毎日変動します。

＜ウィーン金貨ハーモニーとは＞

地金型金貨であるオーストリア造幣局発行の「ウィーン金貨ハーモニー」は、1オンス、1/2オンス、1/4オンス、1/10オンスの4種類のサイズがあり、2009年の「ウィーン金貨ハーモニー」発売20周年には、「ウィーン金貨ハーモニー20オンス」を発売しました。「ウィーン金貨ハーモニー」は予算に応じた資産形成ができるほか、友人や家族へのプレゼントにも適しています。また、ペンダントやブローチなど、コインジュエリーとしても様々な商品を展開しています。「ウィーン金貨ハーモニー」の日本総代理店である田中貴金属工業株式会社（本社：千代田区丸の内、代表取締役社長執行役員：田苗 明）とオーストリア造幣局は、小額から保有することができる「ウィーン金貨ハーモニー」の提供を通じて、長期的な資産形成手段のひとつである資産用貴金属地金や地金型コイン等を広く一般に訴求しています。

＜ウィーン金貨ハーモニー画像＞

【表面】



【裏面】



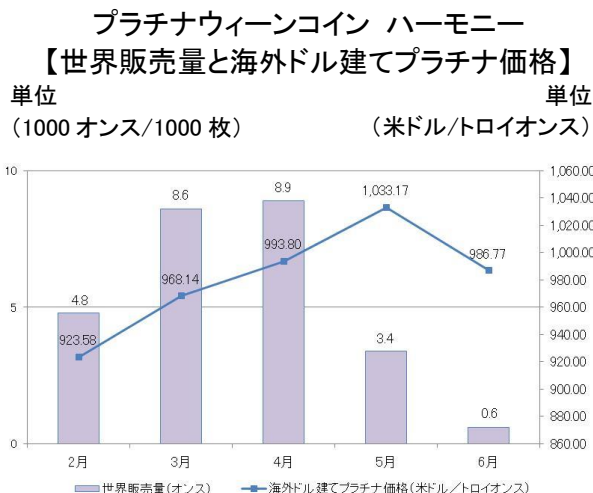
## 【プラチナウィーンコイン ハーモニー】

### ◆販売開始後、3 か月間で 20,000 オンスを達成！

2016年2月に販売を開始した「プラチナウィーンコイン ハーモニー」※2の2月から6月までの世界全体での販売量は、重量で **26,323 オンス** でした。

2016年の海外ドル建てプラチナ価格は年初 800ドル台/トロイオンスから原油価格の回復や世界的な株高を背景に次第に値を上げ、1,000ドル/トロイオンスに回復。海外ドル建て価格が上昇する中、「プラチナウィーンコイン ハーモニー」は、販売開始より好調に推移し、わずか3か月間で20,000オンスを販売しました。

その後、原油価格の上昇や自動車触媒をはじめとする産業用需要への期待感、プラチナ触媒を多く使用するディーゼル車需要の高い欧州で新車台数販売数が底堅く推移したことで海外ドル建てプラチナ価格はさらに上昇し、5月のプラチナの国際平均価格は1,033.17ドル/トロイオンスとなりました。6月に入ると、プラチナ価格は徐々に落ち着きを見せたことが、販売量は伸び悩みました。

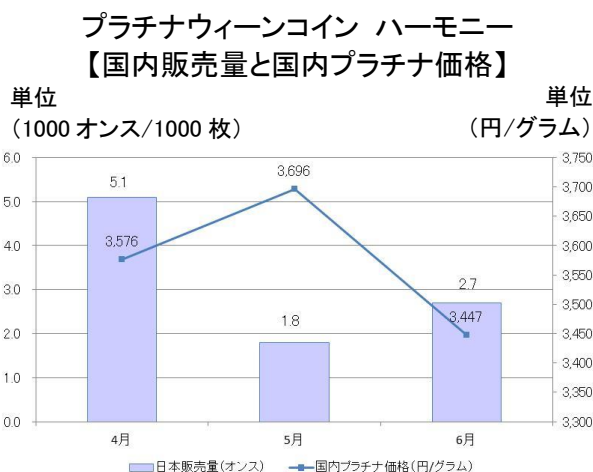


### ◆国内金価格との価格差から発売開始の4月に5,173オンスを販売

2016年4月から6月までの日本での「プラチナウィーンコイン ハーモニー」の販売量は、日本総代理店である田中貴金属工業によると、重量で **9,683 オンス** でした。

日本国内での「プラチナウィーンコイン ハーモニー」は2016年4月1日より販売を開始。国内プラチナ価格は国内金価格と比べて800円以上も下回る値ごろ感から、プラチナコインの販売量は4月から堅調に推移し、発売開始から1か月間で5,173オンスを販売しました。5月に入ると、原油価格の上昇や産業用としての需要拡大への期待感から、国内プラチナ価格が上昇したため、販売量は減少傾向となりました。6月は国内プラチナ価格が年初来高値をつけたことで、資産用需要としての伸びが落ち着きを見せました。その後、国内プラチナ価格は徐々に値を下げていき、同時に国内金価格との価格差も広がりを見せたことで、販売量は再び増加傾向となりました。国内プラチナ価格と国内金価格の価格差の広がりに合わせて販売量が推移していることから、消費者は国内プラチナ価格に関心を寄せながら、資産形成の選択肢のひとつとしてプラチナコインを購入していることがうかがえます。

また、2016年7月9日には初年度目標である2万オンスの半分に相当する1万オンスの販売量を達成しました。



※2…プラチナウィーンコイン ハーモニーの販売サイズは世界市場含めて1オンスのみ

■参考 5:「プラチナウィーンコイン ハーモニー」2016 年 2 月から 6 月の世界/国内販売量

2016 年	世界販売量 (単位:1000 オンス)	世界販売枚数 (単位:1000 枚)	国内販売量 (単位:1000 オンス)	国内販売枚数 (単位:1000 枚)
2 月	4.8	4.8	—	—
3 月	8.6	8.6	—	—
4 月	8.9	8.9	5.1	5.1
5 月	3.4	3.4	1.8	1.8
6 月	0.6	0.6	2.7	2.7
合計	26.3	26.3	9.6	9.6

※販売量、販売枚数の概数は 10 の位で四捨五入しているため、合計数や加算/減算の値に誤差が生じます。  
世界販売量はオーストリア造幣局が各国へ販売した数量、国内販売量は田中貴金属工業が国内で販売した数量です。  
田中貴金属工業の販売量には、買取ったプラチナウィーンコイン ハーモニーの再販分も含まれます。

■参考 6:2016 年 2 月から 6 月の海外ドル建てプラチナ価格と田中貴金属公表国内プラチナ価格  
(月平均価格)

2016 年	海外ドル建てプラチナ価格 (米ドル/トロイオンス)	国内プラチナ価格 (円/グラム、税抜小売価格)
2 月	923.58	3,496
3 月	968.14	3,594
4 月	993.80	3,576
5 月	1,033.17	3,696
6 月	986.77	3,447

■参考 7:プラチナウィーンコイン ハーモニーの種類と国内参考価格

	1 オンス
品位	純度 99.95%の純プラチナ
額面金額	100 Euro
重量	31.1035 g
直径	37.0 mm
厚さ	1.9 mm
デザイン(表)	ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の本拠地である楽友協会・ 黄金の間のパイプオルガン
デザイン(裏)	ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団を象徴する美しい「楽器」のデザイン
参考価格 小売	137,253 円

\* 参考価格は、田中貴金属工業公表の 2016 年 7 月 26 日(火)9 時 30 分発表のプラチナ価格(税込小売価格 1g=4,038 円)の場合の 1 枚あたりの税込価格です。価格は毎日変動します。

<プラチナウィーンコイン ハーモニーとは>

プラチナウィーンコイン ハーモニーは、オーストリア政府が保証する法定通貨で、800 余年の歴史を誇るオーストリア造幣局が発行した地金型プラチナコインです。田中貴金属工業では、オーストリア造幣局の日本における総代理店として、2016 年 4 月 1 日よりプラチナウィーンコイン ハーモニーを販売しています。デザインは、ウィーン金貨ハーモニーと同様に、表面にはウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の本拠地でニューイヤークンサートの会場でもあるウィーン楽友協会「黄金の間」のパイプオルガンが、裏面にはハーブやウィーンホルンなどの管弦楽器がレリーフで象られています。

<プラチナウィーンコイン ハーモニー画像> [表面]



[裏面]



＜オーストリア造幣局とは＞

オーストリア造幣局は、1194年の誕生以来、800余年にわたり様々なコインの鑄造を行ってきました。その品質と鑄造技術は世界中から高い評価を得ています。1989年、財務省傘下からオーストリア中央銀行の子会社となったオーストリア造幣局は、同年、ヨーロッパで初めての純金地金型金貨「ウィーン金貨ハーモニー」を発行、日本市場への販売を開始しました。1994年には開局800周年を迎え、2004年の「ウィーン金貨ハーモニー」発売15周年には、世界最大級の金貨である「ウィーン金貨ハーモニー1000オンス」を、2008年には「ウィーン・フィル銀貨」を発行しました。また、2009年の「ウィーン金貨ハーモニー」発売20周年では、「ウィーン金貨ハーモニー20オンス」を発行し、2014年には発売25周年記念として「ウィーン金貨ハーモニー1/25オンス」を発行しました。2016年2月6日にはプラチナのコインの販売することを発表しました。

＜田中貴金属工業とは＞

田中貴金属工業株式会社は、1885年の創業以来、1世紀以上にわたり、金や銀を始めプラチナ族金属などの貴金属の回収・精製並びにその分析に携わるとともに、それらを用いたさまざまな産業用素材や製品の製造・販売をはじめその特性を生かした資産としての貴金属地金商品の売買を行っています。日本で金の輸出入自由化が施行された1978年には、金の精製・分析技術が高く評価され、日本で初めてロンドン金市場(現ロンドン地金市場協会)の公認溶解業者の認定を受け、ロンドンはもとより世界の主要市場で通用する金地金を製造する資格を得ました。また、2003年12月には、ロンドン市場で取引される金及び銀の品質を審査する、世界で5社しか認定されない「公認審査会社」の1社に任命されています。グループ会社の田中貴金属ジュエリーが運営するGINZA TANAKAの各店舗(7店舗)をはじめ、全国に広がる102店舗の特約店で金地金や地金型金貨等の売買を行っています。

＜本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先＞

■オーストリア造幣局 駐日事務所 北野

TEL : 03-5640-1578 <http://www.austrianmint-jp.com>

■共同PR株式会社 担当：高井、川島、伊原、田中、後藤

TEL : 03-3571-5326 FAX : 03-3574-0316